

# 5歳児クラス 1月 第3回 「としょかんライオン」

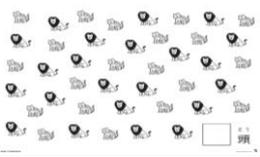
保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

## シアタータイム

導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>家でのルール、保育園でのルール、公共の場所（公園・電車やバス・図書館など）でのルールにはどんなものがあるか話し合う。</li> <li>絵本を提示し題名「としょかんライオン」を一緒に読み、どんなお話なのか興味を持たせてシアターに繋げる。</li> </ul>	教材	
		★絵本 ★iPad(シアターセット)	
読み方	①感情を込めて文章を読む。 15分以上の読み聞かせなので、子ども達が飽きない読み方の工夫をする。 ②ルールは大事だが、柔軟な対応も必要なことがあることを子ども達に伝える。	保育士の役割	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>会話をする</li> <li>子ども達の一員になりお話を聞く</li> </ul>	

## がくしゅうタイム

活動①	記憶	お話を聞いて、質問に答えることが出来る	
設問	先生のお話を聞いて、質問に答えたり自分の思いをお話しましょう		
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> <li>講：「素敵なお話だったね、ライオン偉かったね」</li> </ul>		教材
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>お話を思い出しながら、質問に答えたり自分の思ったことを発言する。</li> </ul> <b>【質問例】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>図書館に入って来たのは誰ですか。</li> <li>図書館にライオンが来た時、皆はどんな気持ちでしたか。</li> <li>図書館のお話の時間は何時に始まりますか。</li> <li>ライオンは、図書館でどんなお手伝いをしましたか。</li> <li>ライオンはどうして大きな声を出したのですか。</li> <li>ライオンが来なくなって皆はどんな気持ちでしたか。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>クラスに合わせて、質問を考えてなるべく全員が発言出来るように配慮する。（既に出た意見でも良いので、自分の声で発表出来るように配慮する）</li> <li>話が出来たら称賛して終了する。</li> </ul>		絵本 iPad(シアターセット)
			保育士の役割
			<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども達のフォロー</li> <li>子ども達と一緒に考え発言する</li> <li>称賛</li> </ul>
活動②	生活	良いことをしているのか悪いことをしているのかを考えて印をつけることが出来る	
設問	絵の中で、良いことをしていると思う絵には○をつけましょう		
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> <li>保：「ライオンからお手紙届いたよ」郵便袋を提示する。</li> </ul>		教材
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>講：「なんだろうね？開けてみよう」プリント提示。</li> <li>どんな絵が描いてあるか皆で確認する。</li> <li>まずは、自分が良いと思うものには○を付ける。</li> <li>どんなところが良いのか、良くないのか、また本当はどうしたら良いのかを考えて発言する。</li> </ul> ※なぜそうなのか（そう思うのか）、その子なりの理由が言えることが大切。		P1 赤鉛筆・ハンコ ★鉛筆
			保育士の役割
			<ul style="list-style-type: none"> <li>郵便袋を届ける</li> <li>プリント配布</li> <li>子どものフォロー</li> <li>子どもと一緒に考え発言する</li> <li>称賛</li> </ul>

<b>活動③</b>	ねらい	<b>数</b>	ライオンの数を数えることが出来る	
設問	何頭のライオンがいますか。その数の数字を右下の四角に書きましょう			
こまめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>講：「何か声が聞こえるよ、早く数えてくれ～だって」</li> </ul>			教材
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>「誰がいるかな？」ライオンとトラを確認する。</li> <li>講：「今日はライオンだけ数えます」</li> <li>数える時は、左の上から右に向かって数える。</li> <li>鉛筆で1頭ずつ消しながら、声を出さずに心の中で数える。</li> <li>声を出して数えている子がいたら、心の中で数えるようにそつと言う。</li> <li>出来たら皆で答えを確認して、花丸・ハンコ等で称賛する。</li> </ul>			P2 赤鉛筆・ハンコ ★鉛筆
				保育士の役割
				<ul style="list-style-type: none"> <li>子どものフォロー</li> <li>称賛</li> </ul>

<b>数チャレ</b>	ねらい	<b>数</b>		教材
設問				
活動内容	※<活動③>を数にチャレンジとします。			保育士の役割

■出来たかな表

【活動内容】	【ポイント】
シアター	子ども達が飽きないように工夫しながら読んだか（活動①の内容を強調して読んだか）
活動① 記憶	1人ずつに称賛を行ったか
活動② 生活	それぞれの理由もきちんと指導したか
活動③ 数	正確に数える方法を子ども達が身に付けられているか、確認したか 出来ない子に対する指導の的確に行えたか
数チャレ	活動③に含む

楽習タイム♪

\*\*\* テーマ・ことば \*\*\*

約束を話し合う

●生活していく中で、ご家庭でいろいろな約束があると思いますがここで再確認してみましょう。  
「お家でのお約束」「外でのお約束」「保育園でのお約束」など、場面・場所・時間・相手…さまざまな約束があると思います。また、約束を忘れてしまうこともあると思いますが、そんな時には再度確認したり対策を話合ったりすることをお勧めします。

〇〇の時はどうする？



約束を決める時は大人の意見を押し付けるのではなく、一緒に考えられると良いですね。



今月のえかきリズム

\*\*\* いろはてんぐ \*\*\*



えかきリズムの動画はこちら



楽習タイムの動画はこちら

